

JFEホールディングスの 知的財産・無形資産戦略と

「JFEビジョン2035」による変化

カーボンニュートラル時代を見据えた知財戦略の転換点

 豊かな地球の未来のために

プレゼンテーション目次



1 現状のJFEの知的財産・ 無形資産戦略

特許ポートフォリオ・DX戦略・人材育成



2 「JFEビジョン2035」と 第8次中期経営計画

長期成長戦略とカーボンニュートラル目標



3 ビジョン2035による 知財・無形資産戦略への影響

戦略転換と新たな取り組み



4 将来シナリオ

複数の成長シナリオとリスク分析



5 競合他社との比較

日本製鉄・神戸製鋼所との戦略比較



6 JFEの優位性と課題

強みの活用と課題への対応策



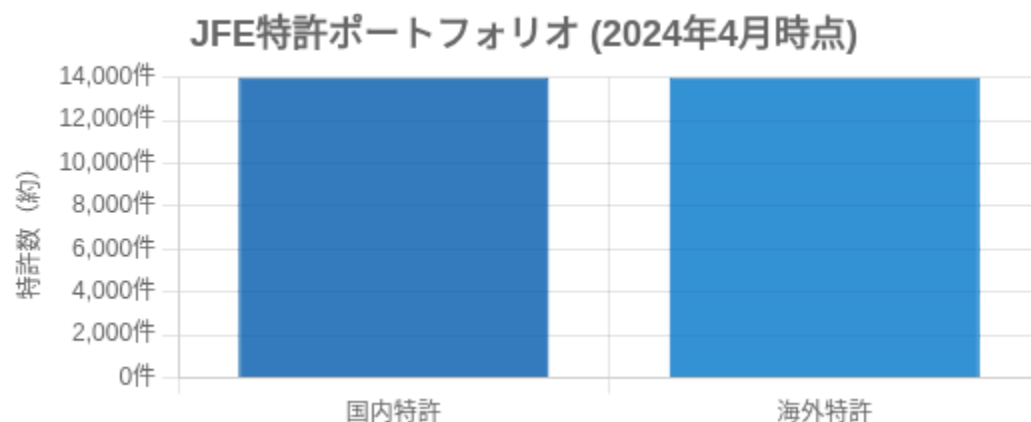
7 結論

無形資産を活用した将来展望

現状のJFEの知的財産・無形資産戦略

特許ポートフォリオ

🏆 業界1位



✓ 質・量ともに業界トップクラスの特許資産規模

✳️ JFEスチールは特許資産規模で業界1位

3事業における技術力・強み

🏭 鉄鋼

🏗️ エンジニア
リング

🚚 商社

🏭 世界最高水準の製造プロセス技術

🔧 エンジニアリング事業の多様なポートフォリオ

📦 商社事業の強固な加工流通網

🤝 グループ内シナジーの最大活用

成長のための戦略的投資

💻 DX投資額

約1,100億円

ビジネス変革・業務プロセス革新

👥 人材育成投資

約800億円

2025～2027年

「JFEビジョン2035」と第8次中期経営計画の概要

JFEビジョン2035

豊かな地球の未来のために
創立以来最大の変革に挑戦

脱炭素戦略の中核

カーボンニュートラル（CN）に向けた
技術開発でのトップランナーを目指す

2024年

ビジョン発表・第8次中期経営計画開始

2030年

CO₂排出量 **30%削減**（2013年比）

2035年

グループ事業利益 **7,000億円** 達成

2050年

カーボンニュートラル 実現



第8次中期経営計画（2024年度） 事業利益2.5倍へ



DX投資

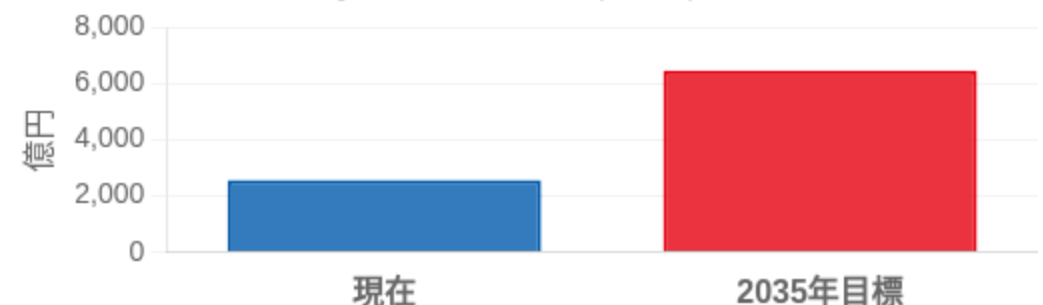
約1,100億円



人的資本投資

約800億円

事業利益目標（億円）



収益強化の3本柱



国内生産体制
再構築

高効率な生産体
制の確立



海外事業拡大
グローバル市場
の開拓

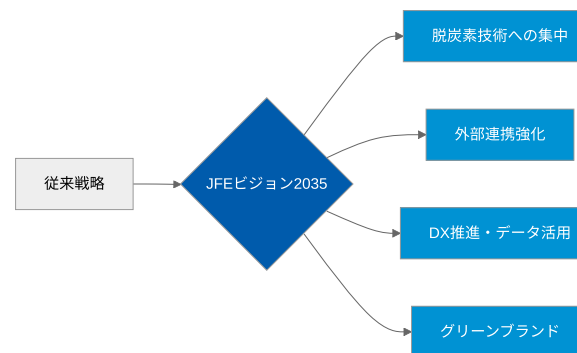


グリーン鋼材
開発

環境配慮型製品
の展開

ビジョン2035による知財・無形資産戦略への影響

「ビジョン2035と第8次中計は、知的財産・データ・人材・ブランドといった
広義の無形資産戦略を一層中核に据える転換点」



研究開発・特許戦略の転換

- ＞ 脱炭素関連技術への重点シフト
- ＞ 水素還元製鉄・革新電炉技術
- ＞ CCUS・リサイクル技術の特許出願集中



外部資源の戦略的活用

- ＞ オープンイノベーション・共同研究の加速
- ＞ トップパートナーとの協業・M&A推進
- ＞ 技術・知財補完と顧客ネットワーク拡大



ブランド・データ戦略

- ＞ グリーン鋼材の市場メインプレーヤー化
- ＞ サイバーセキュリティ事業強化
- ＞ 環境配慮型ブランド価値の向上

JFEビジョン2035に基づく知的財産・無形資産戦略の将来展開シナリオ



1

カーボンニュートラル 技術のグローバルリーダー

脱炭素技術の知財とノウハウを活かしたグローバル市場でのポジション確立

- ✓ 水素還元製鉄技術の **世界標準化**
- ✓ 脱炭素技術の **ライセンス収入** 拡大
- ✓ グリーン鋼材の **市場シェア** 拡大



2

デジタルソリューション 企業への転身

生産データやAI技術を活用した新たなデジタルビジネスモデルの構築

- ✓ 生産管理 **AIソリューション** の外販
- ✓ **データ分析サービス** による収益源多様化
- ✓ **サイバーセキュリティ事業** の拡大



3

知財活用停滞による 競争力低下

知財・無形資産の戦略的活用失敗による事業リスク

- ✗ **競合他社** の技術的優位性確立
- ✗ **既存モデル** からの脱却失敗
- ✗ **無形資産価値** の収益化遅れ

競合他社との比較とJFEの優位性・課題

国内鉄鋼大手3社の戦略比較

項目	J JFEホールディングス	N 日本製鉄	K 神戸製鋼所
知財戦略の特徴	脱炭素技術・DXに集中、協調型	圧倒的規模、独自技術開発重視	特定分野特化、素材複合展開
カーボンニュートラル戦略	水素還元製鉄・革新電炉 2050年CN達成目標	高炉水素吹込・電炉転換 2050年CN達成目標	水素活用・CCUS・省エネ 2050年CN達成目標
DX・データ活用	先行投資（1,100億円） サイバーセキュリティ事業展開	大規模設備制御システム データプラットフォーム構築	マテリアルズ・インフォマティクス 製造データ分析
事業多角化	鉄鋼・エンジニアリング・商社 グループ横断シナジー重視	エンジニアリング・化学・システム 鉄鋼技術応用型多角化	鉄鋼・アルミ・素材・機械 素材技術複合化

JFEの優位性

- ✓ **特許の質と技術力**：業界トップクラスの特許資産規模と製造プロセス技術
- ✓ **DX先行投資**：デジタル技術活用で業界リード
- ✓ **グループ横断シナジー**：3事業の強みを活かした総合力
- ✓ **協調型戦略**：顧客や同業者との協業・オープンイノベーション

JFEの課題

- ❗ **規模・開発投資力**：日本製鉄と比較した資本力の差
- ❗ **人材確保・育成**：デジタル人材・グローバル人材の獲得競争
- ❗ **知財の国際競争**：グローバル特許戦略の強化必要性
- ❗ **無形資産の収益化**：技術・DXの投資回収リスク

競争力比較



JFEの知的財産・無形資産戦略の方向性

JFEは**カーボンニュートラル時代**を見据えて知財戦略を経営の中核に位置付け、**DXや人材**といった無形資産への大胆な投資で企業変革を目指しています

ハード資産（製鉄設備）の最適化とともに、**ソフト資産（知財・人材・データ・ブランド）**をいかに活用するかが、JFEの将来の成否を分けます

現在

特許・技術基盤

業界トップクラスの特許資産と
製造技術

2027年

第8次中計完了

DX・人材投資の成果創出

2035年

ビジョン達成

事業利益7,000億円

2050年

CN実現

カーボンニュートラル達成

 **無形資産戦略の変革：** 脱炭素技術への集中投資と知財・データ・人材を統合的に活用した価値創出

 **協創・オープン戦略：** パートナiershipとオープンイノベーションによる業界標準化と知財の価値最大化



グリーン技術開発

カーボンニュートラル技術の開発・標準化とグローバル市場展開



人的資本強化

デジタル人材の確保と重点領域の専門人材育成加速



デジタル基盤構築

DX推進とデータ資産の活用による新たな価値創造